

食欲の秋！

みんなで楽しく焼きいも大会

札幌市立旭小学校 能登貴章

秋、たくさんの落ち葉が道路を埋め尽くすころ、焼きいも大会を開いて楽しんでみてはいかがですか？ちょうど、自分たちで育てたじゃがいもを収穫する時期でもあります。校庭に落ちているたくさんの木の葉を集めて、その中に、育てたじゃがいもを放りこんで焼いて食べるなんて、なかなかおつなものですよ。収穫したじゃがいもも、いっそうおいしく感じます。

○事前に、落ち葉をたくさん集めて、教室などで乾燥させておきます。



○石を敷き詰めた上に乾燥させた葉っぱをたくさんかけ、火をつけます。



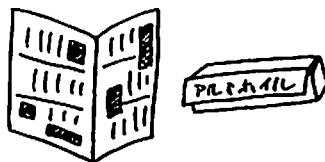
○じゃがいも・さつまいもを火の中へ。

そろそろ焼けたかな？



○用意するもの

いもを包むための
新聞紙・アルミホイル



Point !

いもは、ぬらした新聞紙でくるんでからアルミホイルで包み、火に放りこみます。そうすると、水分がとばず、蒸し焼き状態になり、うまみが逃げません。（いもを電子レンジで加熱しておくと、より上手に焼き上がります。）

焼きいも大会は、火を使うので、低学年の子どもたちだけでは、ちょっと危険です。家の方にも呼びかけて手伝っていただくと、火の扱いの心配も減り、親子で触れ合うよい機会にもなります。また、高学年の子どもたちと一緒に行動すると、楽しさもいっそう増します。家の人や他の学年の子どもたちと語らうには、もってこいですね！